

中生、晩生品種とも出穂期は「平年並」 葉色の低下に注意！ 2 回目穂肥を確実に実施！！

1 生育状況 (7月 18 日現在)

コシヒカリ : 草丈「やや短」 茎数「並」 葉数の進み「やや遅」 葉色「やや淡」
 新之助 : 草丈「短」 茎数「やや少」 葉数の進み「やや遅」 葉色「淡」

品種		草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉数 (葉)	葉色 (SPAD 値)
コシヒカリ (調査点数 9)	本年値	73	422	11.9	32.6
	指標比・差	94 %	102 %	- 0.4	- 1.1
新之助 (調査点数 3)	本年値	59	507	11.6	31.3
	指標比・差	90 %	92 %	- 0.4	- 2.7

2 今後の天気 (7月 20 日～8月 19 日：新潟地方気象台 7月 18 日発表)

期間の前半は平年と比べ曇りや雨の日が多く、後半は晴れの日が多い。
 気温:平年並 降水量:多い 日照時間:平年並～少ない

3 出穂期予測と穂肥時期・施用量のめやす (7月 18 日現在)

品種名	出穂期	穂肥時期のめやす(出穂前日数)		合計窒素量 (kg/10a)	
		1 回目	2 回目		
中生	こがねもち	8/2	7/15～7/18 (18～15)	7/23 (10)	1～3
	コシヒカリ	8/6	7/19～7/22 (18～15)	7/27 (10)	1～3
晩生	新之助	8/12	7/22～7/25 (21～18)	7/31～8/2 (12～10)	2

※中生品種 5/5 植え、新之助 5 月中旬植えを想定

※出穂期は今後の気象条件で変動することもあるため、今後の情報に注意する。

4 今後の栽培管理

- (1) コシヒカリの 2 回目の穂肥は、後期栄養を維持するために出穂 10 日前 (1 回目穂肥を遅めとした場合は、1 回目の 7 日後) に確実に施用する。
- (2) コシヒカリの**基肥一発施肥において、葉色が低下し、出穂期の葉色値 (SPAD 値) が 32～33 を下回ると予想される場合に、出穂 10 日前頃に追加穂肥を施用**する。
- (3) 新之助の 1 回目穂肥は、出穂 21～18 日前に施用する。葉色が低下している場合は、遅れずに穂肥を施用し、窒素成分で最大 1.5kg/10a までをめやすに施用量を調整する。
- (4) 斑点米カメムシ類の発生が多いため、雑草が結実しない間隔で農道や畦畔の草刈りを行うとともに、適期に薬剤防除を実施し、斑点米発生防止に努める。

～ 農作業時の熱中症対策は万全に！ ～